

## ビデオ システム スタートアップ ガイド

- ・ Codec C シリーズ
- ・ MX シリーズ
- ・ EX シリーズ
- ・ Profile シリーズ
- ・ Quick Set C20
- ・ SX シリーズ

ソフトウェア バージョン TC7.2  
2014 年 10 月



## シスコ製品をお選びいただきありがとうございます。

お使いのシスコ製品は、長年にわたり安全かつ信頼できる操作を行えるよう設計されています。

製品マニュアルのこの部分は、TC ソフトウェアを実行している Cisco TelePresence 製品の設定作業を行う管理者を対象としています。

本スタートアップ ガイドの主な目的は、ユーザの目標とニーズに対応することです。このガイドについてのご意見、ご感想をお聞かせください。

定期的にシスコの Web サイトにアクセスし、このガイドの最新版を入手してください。

ユーザ ドキュメンテーションは次の URL から入手できます。

▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

## 本ガイドの使用方法

本ガイド上部のメニュー バーと目次の各項目には、ハイパーリンクが設定されています。クリックすると、そのトピックに移動します。

## 目次

はじめに .....	3
本ガイドについて .....	4
ユーザ インターフェイス .....	5
ユーザ インターフェイス .....	6
設定 .....	7
システムの設定方法 .....	8
設定作業 .....	9
タッチ コントローラによる設定 .....	12
プロビジョニングの設定 .....	13
IP の設定 .....	14
H.323 と SIP の設定 .....	15
日時と場所の設定 .....	16
TRC5 リモート コントロールと画面メニューを使用した設定 * .....	17
プロビジョニングの設定 .....	18
IP の設定 .....	19
H.323 と SIP の設定 .....	20
日時と場所の設定 .....	21
[ 管理者設定 ] メニュー パスワードの設定 .....	22
Web インターフェイスを使用した設定 .....	23
プロビジョニングの設定 .....	24
IP の設定 .....	25
H.323 と SIP の設定 .....	26
日時と場所の設定 .....	27
システム / コーデック パスワードの設定 .....	28
メニュー パスワードの設定 .....	28
SX10 のセットアップ アシスタント .....	29
IP の設定項目 .....	30
プロビジョニングの設定 .....	31
付録 .....	32
タッチ コントローラの使用方法 .....	33
タッチ コントローラの [ 設定 ] メニュー .....	34
TRC5 リモート コントロールと - 画面メニューの使用方法 .....	35
画面メニュー システム .....	39
Web インターフェイスの使用方法 .....	40
Web インターフェイスの [ システム設定 ] ページ .....	41
TRC6 リモート コントロール .....	42
SX10 の画面上のメニュー .....	43
Cisco VCS プロビジョニング .....	44
シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション .....	45



## 第1章 はじめに





## 本ガイドについて

このガイドでは、ビデオ会議システムの基本設定について検討します。また、リモート コントロール、タッチ コントローラ、Web インターフェイスの使用方法についても説明します。

システムの組み立てやインストールの詳細については、製品のインストールガイドを参照してください。

### 本ガイドで取り扱う Cisco TelePresence 製品

- Codec C シリーズ：

- Codec C40

- Codec C60

- Codec C90

- EX シリーズ：

- EX90

- EX60

- MX シリーズ：

- MX200

- MX300

- MX200 G2

- MX300 G2

- MX700

- MX800

- Codec C シリーズを搭載した Profile シリーズ：

- Profile 42"

- Profile 52" /55"

- Profile 52" Dual/55" Dual

- Profile 65"

- Profile 65" Dual

- Quick Set C20/C20 Plus

- SX シリーズ：

- SX10 Quick Set

- SX20 Quick Set

- SX80 Codec

### ユーザ ドキュメンテーション

TC ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence システムのユーザ ドキュメンテーションには、各種システムとユーザ グループ向けの複数のガイドが含まれています。

- ・ ビデオ会議室の入門ガイド
- ・ ビデオ会議室の音響ガイドライン
- ・ TelePresence システムのインストール ガイド
- ・ TC ソフトウェアのソフトウェア リリース ノート
- ・ TelePresence システムのスタートアップ ガイド
- ・ TelePresence システムのユーザ ガイド
  - リモート コントロール用
  - タッチ コントローラ用
- ・ TelePresence システムのクイック リファレンス ガイド
- ・ TelePresence システムの管理者ガイド
- ・ PrecisionHD カメラのカメラ ユーザ ガイド
- ・ Codec C シリーズの API リファレンス ガイド
- ・ Codec C シリーズの TC コンソール ユーザ ガイド
- ・ Codec C シリーズの物理インターフェイス ガイド
- ・ 法規制の遵守と安全性に関する情報ガイド
- ・ TC ソフトウェア搭載製品の法律およびライセンス情報

### ソフトウェア

製品のソフトウェアは、下記のシスコの Web サイトからダウンロードできます。

▶ <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

### シスコへのお問い合わせ

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL : ▶ <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts>

### ユーザ ドキュメンテーションのダウンロード

ユーザ ドキュメンテーションは、下記のシスコの Web サイトからダウンロードできます。▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

シスコの Web サイトにあるドキュメンテーションの検索ガイドラインについては、付録の「▶ シスコ Web サイトのユーザ ドキュメンテーション」を参照してください。



## 第2章 ユーザ インターフェイス

## ユーザ インターフェイス

Cisco TelePresence ビデオ システムの主なオペレーティング デバイスは、リモート コントロールとタッチ コントローラのいずれかです。リモート コントロールは、EX シリーズおよび MX シリーズまたは SX80 では利用できません。

また、すでにネットワークに接続されており、IP アドレスがわかっている場合は、Web インターフェイスでシステムを設定することもできます。

付録では、タッチ コントローラの使用方法と、リモート コントロールおよび画面メニューの使用方法について説明します。また、Web インターフェイスの移動方法と使用方法についても説明します。



タッチ コントローラ

リモート コントロールと画面メニュー

Web インターフェイス



## 第3章 設定

## システムの設定方法

ビデオ会議システムの使用を開始する前に、この章の説明に従って基本設定を行う必要があります。

### プロビジョニング システムの使用、または各ビデオ会議システムの個別設定

プロビジョニングによって、ビデオ会議のネットワーク管理者は多数のビデオ システムを同時に管理できるようになります。通常は、各ビデオ システムにプロビジョニング サーバのクレデンシャルを入力するだけで、残りの設定が自動的に行われます。

プロビジョニング システムを使用しない場合は、各ビデオ システムを個別に設定する必要があります。最低限、IP パラメータと SIP/H.323 パラメータを設定する必要があります。正確な時刻と日付も設定してください。

この章の残りの部分では、プロビジョニング システムを使用する場合と使用しない場合の基本設定について説明します。

### 各種ユーザ インターフェイス

タッチ コントローラ、リモート コントロール、または Web インターフェイスを使用したビデオ システムの設定方法について説明します。

また、コマンドライン インターフェイスを使用したメニュー パスワードの設定方法についても説明します。

各説明のタイトルは次のように色分けされています。

タッチ コントローラ

TRC5 リモート コントロール

Web インターフェイス

セットアップ アシスタント

## ユーザ ロール、ユーザ アカウント、およびパスワード

### システム / コーデック パスワード

Web インターフェイスとタッチ コントローラからシステムを設定するには、管理者権限が必要です。

**ユーザ ロール**：ユーザは、1 つ以上のユーザ ロールを所有している必要があります。ユーザ ロールには管理者、ユーザ、監査者の 3 種類があり、それぞれ異なる権限が割り当てられています。これらのロールで権限が重複しないように十分に注意してください。

フル アクセス権がある包括的な管理者ユーザ アカウント（デフォルトの admin ユーザなど）は、3 つのロールをすべて所有している必要があります。

ユーザ アカウントの作成と管理方法の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

**注**：初期設定では、デフォルトの admin ユーザにはパスワードが設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、admin 権限を持つユーザーにパスワードを設定する必要があり、デフォルトの admin ユーザも該当します。

パスワードを設定するまで、システム パスワードが設定されていないことを示す警告が画面に表示されます。

パスワードの控えを安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、ユニットを初期設定にリセットする必要があります。

### 画面メニューのパスワード

**注**：初期設定では、管理者メニューにメニュー パスワードが設定されていません。メニュー パスワードを設定して、画面に表示される管理者メニューへのアクセスを制限することを強く推奨します。メニュー パスワードは、リモート コントロールまたは Web インターフェイスで設定できます。

メニュー パスワードの設定後にリモート コントロールを使用する場合は、メニューにアクセスしてビデオ システムを設定する必要があります。

ソフトウェア バージョン TC7.0 から、メニュー パスワードは [管理者設定] 画面メニューだけに適用されています。Touch 8 と Touch 10 コントロール パネルの [管理者] メニューには適用されません。

## 設定作業

以降のページでは初期設定の作業について説明します。作業の説明を検索するには、希望する方法の [ 詳細 ... ] ハイパーリンクをクリックしてください。

### 使用する前に

ここでは、システムの起動方法と、次のいずれかのユーザ インターフェイスの使用開始方法について説明します。

タッチ コントローラ



[詳細 ...](#)

リモート コントロール  
と画面メニュー



[詳細 ...](#)

Web  
インターフェイス



[詳細 ...](#)

セットアップ アシスタント  
(SX10)



[詳細 ...](#)

### プロビジョニングの設定 (プロビジョニング システムを使用する場合)

外部のプロビジョニング システムを使用してシステムを設定する場合があります。その場合は、多くの設定が自動的にプロビジョニングされるため、IP、H.323、SIP、および時刻と日付の設定を行う必要はほとんどありません。

次のいずれかの方法を選択し、プロビジョニング パラメータを設定します。

タッチ コントローラ



[詳細 ...](#)

リモート コントロール  
と画面メニュー



[詳細 ...](#)

Web  
インターフェイス



[詳細 ...](#)

セットアップ アシスタント  
(SX10)



[詳細 ...](#)

### IP パラメータの設定

#### (プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムが IP ネットワークに接続されている必要があります。IP バージョン 4 (IPv4) と IP バージョン 6 (IPv6) の両方がサポートされています。どちらの場合も、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てるとともに、すべて手動で設定することもできます。

次のいずれかの方法を選択し、IP パラメータを設定します。

タッチ コントローラ



[詳細 ...](#)

リモート コントロール  
と画面メニュー



[詳細 ...](#)

Web  
インターフェイス



[詳細 ...](#)

セットアップ アシスタント  
(SX10)



[詳細 ...](#)

## 設定作業 (続き)

### H.323 と SIP パラメータの設定 (プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンライン接続して発着信するには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

次のいずれかの方法を選択して H.323 および SIP パラメータを設定します。

タッチ コントローラ



[詳細 ...](#)

リモート コントロール  
と画面メニュー



[詳細 ...](#)

Web  
インターフェイス



[詳細 ...](#)

### 日付と時刻の設定 (プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムを設定する際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。ゲートキーパーや他のネットワーク要素に送信されたメッセージのタイム スタンプ メッセージに特にこの情報が使用されます。

次のいずれかの方法を選択し、日付と時刻を設定します。

タッチ コントローラ



[詳細 ...](#)

リモート コントロール  
と画面メニュー



[詳細 ...](#)

Web  
インターフェイス



[詳細 ...](#)

### メニュー パスワードの設定

[管理者設定] メニューにパスワードを設定することを強く推奨します。

タッチ コントローラとリモート コントロールの両方で使用できるこのメニューで、ビデオ会議システムの動作に影響を及ぼす設定へのアクセス権が設定されます。

次のいずれかの方法を選択し、メニュー パスワードを設定します。



[詳細 ...](#)

リモート コントロール  
と画面メニュー



[詳細 ...](#)

## 設定作業 (続き)

### コーデック / システム パスワードの設定

システム設定へのアクセスを制限するには、ビデオ会議システムにパスワードを設定することを強く推奨します。

このパスワードは、システムの Web インターフェイスやコマンドライン インターフェイスにサインインする際に使用します。

次の方法でシステム / コーデック パスワードを設定します。

Web  
インターフェイス



詳細 ...

## タッチ コントローラによる設定

### システムの起動

タッチ コントローラにメニューが表示されていない場合は、ディスプレイをタップしてシステムを起動します。

システムが起動しない場合は、次のことを確認します。

- ・タッチ コントローラがメイン ユニットに接続されている
- ・メイン ユニットが電源に接続され、スイッチがオンになっている

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。



タッチ コントローラ

[作業概要に戻る](#)

## プロビジョニングの設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

### プロビジョニング ウィザードの開始

左上隅のユーザ名をタップして [ 設定 ] をタップします。[ 管理者 ] > [ プロビジョニング ] の順にタップして、[ 開始 ] をタップします。

**注:**初めて MX または EX システムを起動すると、プロビジョニング ウィザードが自動的に開始されます。

### プロビジョニング インフラストラクチャの選択

サポートされている次のいずれかのプロビジョニング システムを選択します。

- Cisco VCS (Video Communication Server)
- WebEx Telepresence (SX10 では利用できません)
- Cisco UCM (Unified Communications Manager)
- Cisco UCM via Expressway

[ 次へ ] をタップして続行します。



作業概要に戻る

### 必要なパラメータを入力します。

選択したプロビジョニング インフラストラクチャに必要なパラメータを入力します。次に、[ 登録 ] をタップして手順を完了します。

#### Cisco VCS

Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名 (外部マネージャ)、SIP ドメイン、さらに必要に応じて、プロビジョニング サーバでビデオ システムを認証するためのユーザ名とパスワードを取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の『Cisco VCS プロビジョニング』を参照してください。



#### WebEx TelePresence

Cisco WebEx Telepresence サービスをお申し込みいただくと、ビデオ番号とアクティベーション コードをお送りします。

ビデオ番号とアクティベーション コードがない場合は、社内の WebEx Telepresence 管理者にお問い合わせください。



#### Cisco UCM

Cisco UCM の IP アドレスまたは DNS 名 (外部マネージャ) \* を取得するには、UCM プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『Administering TC endpoints on CUCM』ガイドを参照してください。



#### Cisco UCM via Expressway

このサービスをお申し込みいただくと、ユーザ名、ドメイン、およびパスワードをお送りします。ユーザ名、ドメイン、パスワードを対応する入力フィールドに入力してください。



場合によっては、Expressway アドレスを手動で入力する必要があります。[Expressway アドレスを手動で上書き] をオンにし、注文時に取得したアドレスを [ 外部マネージャ ] フィールドに入力します。

\* DHCP サーバをセットアップして、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てる事ができます (DHCP オプション 150)。ここで入力設定を実行すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

## IP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

タッチ コントローラでは、着信用の IP 設定を選択できます。IP 設定をデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 または IPv6 のいずれかに変更する場合は、Web インターフェイスでその変更を実行できます。

システムの IP 設定のデフォルト値はデュアル スタックに設定されています。これは、ネットワーク インターフェイスが両方の IP バージョンで動作し、IPv4 と IPv6 アドレスを同時に使えることを意味します。つまり、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てるごと、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合は、これらの IP 設定がプロビジョニング システムによって上書きされる可能性があります。

デフォルトの IP 設定に戻すには、左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ 管理者 ] > [IP と VLAN] の順にタップして [ 既定値 ] をタップします。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[ システム情報 ] ページの [ ネットワーク ] セクションにそのアドレスが表示されます。確認するには、左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ システム情報 ] の順にタップします。

作業概要に戻る

### IPv4 の設定または設定変更

#### 1. IP バージョンの選択

左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ 管理者 ] > [IP と VLAN] の順にタップします。次に、[ 詳細設定 ] をタップします。[IPv4] ボックスがオフになっている場合は、オンにします。

#### 2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv4] のそばの矢印 (v) をタップします。IP アドレスを自動で取得する場合は [IP 取得方法] セクションで [DHCP] をタップし、手動で設定する場合は [ 静的 ] をタップします。

#### 3. [IP 取得方法] が [ 静的 ] の場合 : IP アドレスの設定

[IP アドレス]、[サブネット マスク]、[ゲートウェイ]、[DNS サーバ] アドレスを入力します。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。

#### 4. 設定の保存

変更内容を確定するには [ 保存 ] をタップし、保存しない場合は [ 元に戻す ] をタップします。

#### 5. メイン メニューに戻る

[ 終了 ] をタップして [ ホーム ] メニューに戻ります。

\* [IP 取得方法] :  
 [DHCPv6]:すべての IPv6 アドレス(DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなどのオプションを含む) を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。  
 [自動設定] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション(NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど) は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。\*\*  
 [静的] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。オプション(NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど) は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。\*\*

### IPv6 の設定または設定変更

#### 1. IP バージョンの選択

左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ 管理者 ] > [IP と VLAN] の順にタップします。次に、[ 詳細設定 ] をタップします。[IPv6] ボックスがオフになっている場合は、オンにします。

#### 2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv6] のそばの矢印 (v) をタップします。ネットワーク要件に応じて、[IP 取得方法] セクションで [DHCPv6]、[ 自動設定 ]、または [ 静的 ] を選択します。\*

#### 3. [IP 取得方法] が [ 静的 ] の場合 : IP アドレスの設定

[IP アドレス] と [ ゲートウェイ ] に入力します。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。

#### 4. [IP 取得方法] が [ 静的 ] または [ 自動設定 ] の場合: DHCP オプションの設定

ネットワーク要件に応じて、[DHCP オプション] で [ オン ] または [ オフ ] をタップします。

[DHCP オプション] を [ オフ ] にした場合は、Web インターフェイスで DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスを設定する必要があります。

#### 5. 設定の保存

変更内容を確定するには [ 保存 ] をタップし、保存しない場合は [ 元に戻す ] をタップします。

#### 6. メイン メニューに戻る

[ 終了 ] をタップして [ ホーム ] メニューに戻ります。

\*\* [DHCP オプション] :  
 [ オン ] : IP パラメータ (DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなど) を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。  
 [ オフ ] : IP パラメータ (DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなど) を手動で設定する必要があります。

## H.323 と SIP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンライン接続して発着信するには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

**注：**ネットワーク設定に関する情報については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco TMS (TelePresence Management Suite) 経由で管理するネットワークについては、Cisco TMS 管理者がオンラインで支援します。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

### H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

- 左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ 管理者 ] > [ H.323 ] の順にタップします。
- [H.323 番号](#) と [H.323 ID](#) をそれぞれの入力フィールドに入力します。
- H.323 ゲートキーパー アドレスを手動で入力するには、[ ゲートキーパーの検出 ] セクションで [ 手動 ] をタップし、[ゲートキーパー アドレス](#) を入力フィールドに入力します。手動で入力しない場合は、[ 自動 ] をタップします。
- H.323 ゲートキーパーに認証が必要で、システムをゲートキーパーに認証させる場合は、[ 認証モード ] セクションで [ オン ] をタップし、[ログイン名とパスワード](#) をそれぞれの入力フィールドに入力します。認証が必要な場合は [ オフ ] をタップします。
- 変更内容を確定するには [ 保存 ] をタップし、保存しない場合は [ 元に戻す ] をタップします。
- [ システム情報 ] ページの [ H.323 ] の設定を確認します。  
正常にゲートキーパーに登録されると、[ H.323 ] セクションの [ ステータス ] に [ 登録済み ] と表示されます。
- [ 終了 ] をタップして [ ホーム ] メニューに戻ります。

### SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

- 左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ 管理者 ] > [ SIP ] の順にタップします。
- SIP URI を [ URI ] 入力フィールドに入力します。
- [ デフォルトのトランスポート ] セクションで希望するトランスポート プロトコルをタップします。[ 自動 ] を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
- [プロキシ タイプ](#) を選択します。- または + 記号をタップして、利用可能なプロキシ タイプのリストから手順に従って選択します。デフォルトのタイプは [ 標準 ] です。
- SIP プロキシ アドレスを手動で入力するには、[ プロキシの検出 ] セクションで [ 手動 ] をタップし、[プロキシ アドレス](#) を入力フィールドに入力します。システムが SIP プロキシ アドレスを自動的に取得する場合は (DHCP)、[ 自動 ] をタップします。
- SIP プロキシ サーバに認証が必要な場合は、[ログイン名とパスワード](#) をそれぞれの入力フィールドに入力して、システムを認証させる必要があります。
- 変更内容を確定するには [ 保存 ] をタップし、保存しない場合は [ 元に戻す ] をタップします。
- [ システム情報 ] ページの [ SIP ] の設定を確認します。  
正常に SIP サーバに登録されると、[ SIP ] セクションの [ ステータス ] に [ 登録済み ] と表示されます。
- [ 終了 ] をタップして [ ホーム ] メニューに戻ります。

作業概要に戻る

## 日時と場所の設定

(プロジェクティング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムを設定する際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。システムがこの情報（ゲートキーパーや他のネットワーク要素に送信されたメッセージのタイム スタンプ メッセージなど）を使用します。

時刻はタッチ コントローラ画面の右上隅に表示されます。

1. 左上隅のユーザ名をタップし、[ 設定 ] > [ 管理者 ] > [ 日時と場所 ] の順にタップします。
2. [24 時間制] または [12 時間制] をタップして、希望の [ 時刻表記形式 ] を選択します。
3. [dd.mm.yy]、[mm.dd.yy] または [yy.mm.dd] をタップして、希望の [ 日付表記形式 ] を選択します。
4. システムの [ オルソンゾーン ] を選択します。- または + 記号をタップして、利用可能なゾーンのリストから手順に従って選択します。
5. 時刻と日付を定期的に更新する場合は、[ 日付と時刻モード ] を [ 自動 ] に設定します。自動更新しない場合は、[ 手動 ] を選択します。
  - a. [ 手動 ] を選択した場合は、[ 時間 ]、[ 分 ]、[ 年 ]、[ 月 ]、[ 日 ] に正確な値を入力します。- や + 記号をタップすると値が増減します。
  - b. [ 自動 ] を選択した場合は、[NTP モード] を [ 自動 ] に設定して、NTP サーバ アドレスをネットワークから自動取得するか、[NTP モード] を [ 手動 ] に設定して、[NTP サーバ] フィールドに手動でアドレスを入力します。
6. 変更内容を確定するには [ 保存 ] をタップし、保存しない場合は [ 元に戻す ] をタップします。
7. [ 終了 ] をタップして [ ホーム ] メニューに戻ります。

[作業概要に戻る](#)

## TRC5 リモート コントロールと画面メニューを使用した設定 \*

### システムの起動

画面にメニューが表示されない場合は、リモート コントロールの [ ホーム ] (Home) を押してメニューを表示します。

システム画面にメニューが表示されない場合 :

- モニタが接続されてスイッチがオンになっているか確認します。
- リモート コントロールに電池が挿入されているか確認します。
- システムのスイッチがオンになっているか確認します。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

まだ画面にメニューが表示されない場合は、モニタ ケーブルが基本のビデオ出力コネクタに接続されていることを確認します。ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。



リモート コントロールと  
画面メニュー

\* この項は SX10、SX80、EX シリーズおよび MX シリーズには当てはまりません。

作業概要に戻る

## プロビジョニングの設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、プロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

プロビジョニング設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

### プロビジョニング インフラストラクチャの選択

[ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 管理者設定 ] > [ 詳細設定 ] > [ プロビジョニング ] > [ モード ] の順に移動し、次のいずれかのプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。

- ・ [TMS] : Cisco TelePresence 管理システム
- ・ [Callway] : WebEx Telepresence
- ・ [CUCM] : Cisco Unified Communications Manager
- ・ [VCS] : Cisco Video Communication Server
- ・ [自動] : システムは VCS、TMS、CUCM の順にプロビジョニングを開始します。
- ・ [エッジ] : Cisco UCM via Expressway

[ オフ ] を選択した場合は、ビデオ システムのすべての設定を手動で行う必要があります。

#### 設定変更時に常に新しい値を保存する

- ・ ドロップダウン リストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- ・ 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は [OK/保存] に移動します。保存しない場合は [キャンセル] に移動し、**OK** (✓) キーを押して確定します。

作業概要に戻る

### 必要なプロビジョニング パラメータを設定します。

どのパラメータを設定するかは、選択したインフラストラクチャによって決まります。

#### TMS

1. [ 外部マネージャ ] に移動して、[ アドレス ] 入力フィールドに Cisco TMS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。\*
2. [ リンク先 ] 入力フィールドに、プロビジョニング サービスのリンク先を入力します。
3. 必要な場合は、Cisco TMS でビデオ システムを認証します。その場合は、[ プロビジョニング ] に戻り、**ログイン名**と**パスワード**をそれぞれの入力フィールドに入力します。

#### WebEx Telepresence (旧称 Callway)

Cisco WebEx Telepresence サービスをお申し込みいただくと、**ビデオ番号**と**アクティベーション コード**をお送りします。

ビデオ番号とアクティベーション コードがない場合は、社内の WebEx Telepresence 管理者にお問い合わせください。

1. [ ログイン名 ] 入力フィールドに、ビデオ番号を入力します。
2. [ パスワード ] 入力フィールドに、アクティベーション コードを入力します。

#### CUCM

[ 外部マネージャ ] に移動して、[ アドレス ] 入力フィールドに UCM プロビジョニング サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。\*

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

**注：** CUCM プロビジョニングにセキュア モードを使用する場合は、Web インターフェイスで設定する必要があります。

#### VCS

1. 必要な場合は、Cisco VCS でビデオ システムを認証します。その場合は、**ログイン名**と**パスワード**をそれぞれの入力フィールドに入力します。
  2. [ 外部マネージャ ] に移動して、その見出しの下にある [ アドレス ] 入力フィールドに Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
  3. Cisco VCS の SIP **ドメイン**を対応する入力フィールドに入力します。
- VCS プロビジョニングの詳細については、付録の『[Cisco VCS プロビジョニング](#)』を参照してください。

#### Cisco UCM via Expressway

Cisco UCM via Expressway サービスをお申し込みいただくと、ユーザー名、パスワード、およびドメイン名をお送りします。

1. [ ログイン名 ] 入力フィールドに、ユーザー名を入力します。
  2. [ パスワード ] 入力フィールドにパスワードを入力します。
  3. [ 外部マネージャ ] > [ ドメイン ] の順に移動し、ドメイン名を入力します。
- 場合によっては、Expressway アドレスを手動で入力する必要があります。[ 外部マネージャ ] に移動して、注文時に取得したアドレスを [ アドレス ] 入力フィールドに入力します。

\* DHCP サーバを設定して、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てるすることができます (TMS : オプション 242、UCM : オプション 150)。ここで入力設定を実行すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

## IP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムは IP バージョン 4 (IPv4)、IP バージョン 6 (IPv6)、デュアルをサポートします。デフォルト設定はデュアルです。3 つの設定のすべてで、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。デュアルに設定すると、ネットワーク インターフェイスが両方の IP バージョンで動作し、IPv4 と IPv6 アドレスを同時に使用できます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

デュアル モードの使用中に手動で IP の設定を選択する場合は、IPv4 と IPv6 の両方を設定する必要があります。この手順の手順 2 から開始してください。

IP アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[ システム情報 ] ページに現在の IPv4 アドレスや IPv6 アドレスが表示されます。確認するには、[ ホーム ] > [ 設定 ] > [ システム情報 ] の順に移動します。

システムの IPv4 アドレスおよび IPv6 アドレスは、[ システム情報 ] ページの [ ネットワーク ] セクションに表示されます。

[ 終了 ] (右端のファンクション キー) を押して終了します。

### 設定変更時に常に新しい値を保存する

- ドロップダウン リストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は [OK/保存] に移動します。保存しない場合は [キャンセル] に移動し、**OK** (✓) キーを押して確定します。

作業概要に戻る

### IPv4 の設定または設定変更

#### 1. IP バージョンの選択

[ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 管理者設定 ] > [ 詳細設定 ] > [ ネットワーク 1 ] の順に移動します。[IP スタック] に移動して [IPv4] を選択します。

#### 2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv4] > [ 取得方法 ] の順に移動します。IP アドレスを自動で取得する場合は [DHCP] を選択し、手動で設定する場合は [ 静的 ] を選択します。

a. [DHCP] を選択した場合、IP 設定は完了です。

b. [ 静的 ] を選択した場合は、[ アドレス ]、[ サブネットマスク ]、[ ゲートウェイ ] に入力します。[ ネットワーク 1 ] > [DNS] セクションに移動し、[ サーバ 1 アドレス ] 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

#### 3. ホーム (□) を押して、[ ホーム ] メニューに戻ります。

### IPv6 の設定または設定変更

#### 1. IP バージョンの選択

[ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 管理者設定 ] > [ 詳細設定 ] > [ ネットワーク 1 ] の順に移動します。[IP スタック] に移動して [IPv6] を選択します。

#### 2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv6] > [ 取得方法 ] の順に移動します。IP アドレスを自動で取得する場合は [IP 取得方法] で [ 自動設定 ] を選択します。手動で設定する場合は [ 静的 ] を選択するか、[DHCPv6] を選択します。

a. [ 自動設定 ] を選択した場合は、[DHCP オプション] に移動します。必要に応じて [ オン ] または [ オフ ] に設定します。\*\*

b. [ 静的 ] を選択した場合は、[ アドレス ] に移動して IP アドレスを入力します。[ ゲートウェイ ] に移動し、ゲートウェイのアドレスを入力します。必要に応じて [DHCP オプション] を [ オン ] または [ オフ ] に設定します。\*\*

#### 3. DNS サーバと NTP サーバのアドレスの設定

[DHCP オプション] を [ オフ ] にした場合、[ ネットワーク 1 ] で DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスを設定する必要があります。[DNS] > [ サーバ 1 ] > [ アドレス ] セクションの順に移動し、入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

NTP アドレスを設定するには、[ ネットワーク サービス ] > [NTP] の順に移動してアドレスを設定します。[ 保存 ] を選択してアドレスを確定します。[ モード ] を [ 自動 ] に設定します。

#### 4. ホーム (□) を押して、[ ホーム ] メニューに戻ります。

\* [IP 取得方法] :

[DHCPv6]:すべての IPv6 アドレス(DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなどのオプションを含む)を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。

[ 自動設定 ] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション (NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど) は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。\*\*

[ 静的 ] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。オプション (NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど) は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。\*\*

\*\* [DHCP オプション] :

[ オン ] : IP パラメータ (DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなど) を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。

[ オフ ] : IP パラメータ (DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなど) を手動で設定する必要があります。

## H.323 と SIP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンライン接続して発着信するには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

**注：**ネットワーク設定に関する情報については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco TMS (Cisco Telepresence Management Suite) 経由で管理するネットワークについては、Cisco TMS 管理者がオンラインで支援します。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

### H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 管理者設定 ] > [ 詳細設定 ] > [ H.323 ] > [ プロファイル 1 ] の順に移動します。
2. [ H.323 エイリアス ] に移動して、[E164](#) 番号と ID を対応する入力フィールドに入力します。
3. H.323 ゲートキーパー アドレスをシステムで自動取得する場合は、[ ゲートキーパー ] に移動し、[ 検出 ] ドロップダウン リストから [ 自動 ] を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、[ 手動 ] を選択します。[ 手動 ] に設定した場合は、[ アドレス ] 入力フィールドにゲートキーパー アドレスを入力します。
4. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、[ 認証 ] に移動し、[ モード ] ドロップダウン リストから [ オン ] を選択します。[ログイン名](#) と [パスワード](#) を対応する入力フィールドに入力します。認証が不要な場合は、[ モード ] ドロップダウン リストから [ オフ ] を選択します。
5. [ ホーム ] > [ 設定 ] > [ システム情報 ] の順に移動して、[ H.323 ] 設定を確認します。正常にゲートキーパーに登録されると、[ H.323 ] セクションの [ ステータス ] に [ 登録済み ] と表示されます。
6. ホーム (↑) を押して終了します。

その他の [ H.323 ] 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを確認してください。

#### 設定変更時に常に新しい値を保存する

- ドロップダウン リストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は [OK](#) (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は [OK/保存] に移動します。保存しない場合は [ キャンセル ] に移動し、[OK](#) (✓) キーを押して確定します。

作業概要に戻る

### SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 管理者設定 ] > [ 詳細設定 ] > [ SIP ] > [ プロファイル 1 ] の順に移動します。
2. [ URI ] に移動し、SIP URI を対応する入力フィールドに入力します。
3. [ デフォルトのトランスポート ] ドロップダウン リストから希望のトランスポート プロトコルを選択します。[ 自動 ] を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
4. [ タイプ ] ドロップダウン リストから希望のプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは [ 標準 ] です。
5. [ プロキシ 1 ] に移動します。SIP プロキシ アドレスをシステムで自動取得する場合は、[ 検出 ] ドロップダウン リストから [ 自動 ] を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、[ 手動 ] を選択します。[ 手動 ] に設定した場合は、[ アドレス ] 入力フィールドにプロキシ アドレスを入力します。
6. SIP プロキシに認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証させる必要があります。[ 認証 1 ] に移動し、[ログイン名](#) と [パスワード](#) を対応する入力フィールドに入力します。
7. [ ホーム ] > [ 設定 ] > [ システム情報 ] の順に移動して [ SIP ] 設定を確認します。正常に SIP サーバに登録されると、[ SIP ] セクションの [ ステータス ] に [ 登録済み ] と表示されます。
8. ホーム (↑) を押して終了します。

その他の [ SIP ] 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを確認してください。

## 日時と場所の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムを設定する際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。ゲートキーパーや他のネットワーク要素に送信されたメッセージのタイム スタンプ メッセージに特にこの情報が使用されます。

時刻と日付はメイン ディスプレイの右上隅に表示されます。設定の変更後、しばらくしてから画面上の時刻が変更されます。

1. [ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 日付時刻 ] の順に移動します。
2. [ 時刻表記形式 ] ドロップダウン リストから [24 時間制] または [12 時間制] (AM/PM) を選択します。
3. [ 日付表記形式 ] ドロップダウン リストから [ 日.月.年 ] [ 月.日.年 ] [ 年.月.日 ] のいずれかを選択します。
4. [ タイムゾーン ] ドロップダウン リストからタイム ゾーンを選択します。
5. [NTP モード] ドロップダウン リストから [ 自動 ]、[ 手動 ]、[ オフ ] のいずれかを選択します。
  - a. [ 手動 ] を選択した場合は、[NTP サーバ] 入力フィールドに NTP サーバ アドレスも入力します。
  - b. [ オフ ] を選択した場合は、[ 日 ]、[ 月 ]、[ 年 ] および [ 時刻 ] ドロップダウン リストにそれぞれ正確な値を入力します。
6. ホーム (  ) を押して終了します。

### 設定変更時に常に新しい値を保存する

- ドロップダウン リストの選択：目的の値に移動し、保存する場合は **OK** ( ✓ ) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力：テキストを入力後、変更を保存する場合は [OK/保存] に移動します。保存しない場合は [ キャンセル ] に移動し、**OK** ( ✓ ) キーを押して確定します。

\* [NTP モード] :  
[ 自動 ] : 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスはネットワークから自動的に取得されます (DHCP)。  
[ 手動 ] : 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスを手動で入力する必要があります。  
[ オフ ] : 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

作業概要に戻る

## [ 管理者設定 ] メニュー パスワードの設定

システムの初期設定では、[ 管理者設定 ] メニュー パスワードは設定されていません。

**注：**管理者設定はビデオ会議システムの動作に影響を及ぼすため、[ 管理者設定 ] メニューを保護するパスワードを定義することを強く推奨します。

1. [ ホーム ] > [ 設定 ] > [ 管理者設定 ] > [ メニューパスワードの設定 ] の順に移動します。

リモート コントロールの # キーを押すと、小文字、大文字、数字 (abc/ABC/123) が切り替わります。

2. メニュー パスワードを入力します。入力したパスワードは表示されずに、各文字はアスタリスク (\*) に置き換えられます。

3. 変更内容を確定するには [ 保存 ] を選択し、保存しない場合は [ キャンセル ] を選択します。

4. ホーム (⊟) を押して終了します。

[作業概要に戻る](#)

## Web インターフェイスを使用した設定

システムの IP アドレスを見つけるまで、設定にタッチ コントローラまたはリモート コントロールを使用する必要があります。

### IP アドレスの検索

タッチ コントローラで [ 設定 ] > [ システム情報 ] の順にタップします。リモート コントロールと画面メニューの場合は、[ ホーム ] > [ 設定 ] > [ システム情報 ] の順に移動します。

どちらの場合も、[ ネットワーク ] セクションにシステムの IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが表示されます。

### Web インターフェイスへのサインイン

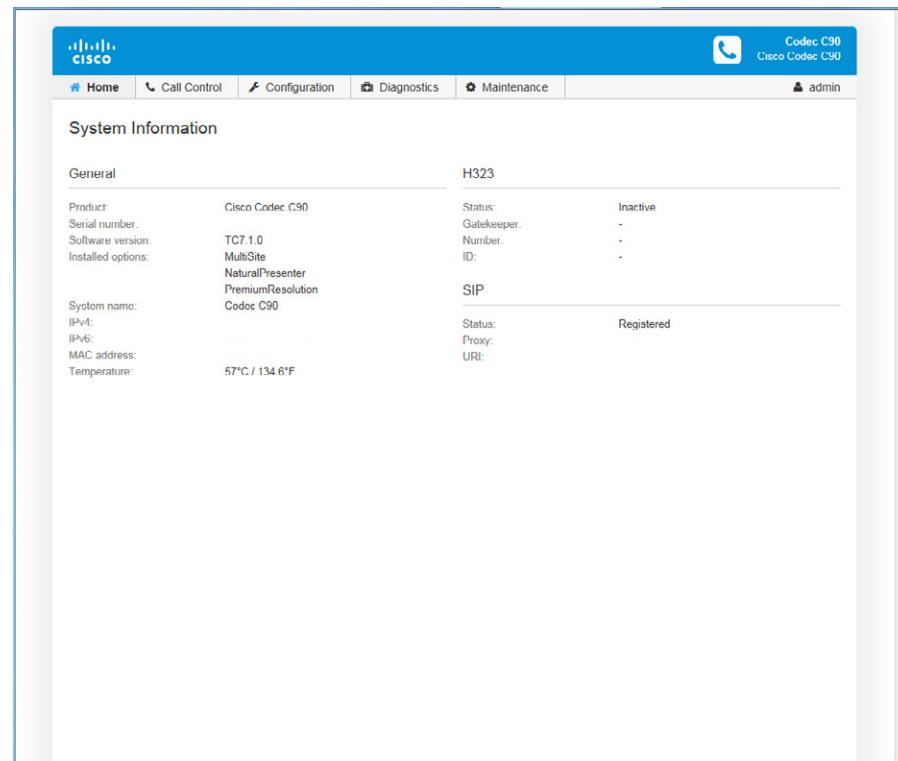
1. Web ブラウザを開いて、システムの IP アドレスをアドレスバーに入力します。
2. ユーザ名とパスワードを入力し、[ サインイン ] をクリックします。

デフォルトのユーザ名は admin で、パスワードは設定されていません。

システムに接続できない場合 :

- ・ システムとコンピュータが同じネットワークに接続されていることを確認します。
- ・ システムのスイッチがオンになっているか確認します。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。



## Web インターフェイス

[作業概要に戻る](#)

## プロビジョニングの設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、プロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

プロビジョニング設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

### プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. [設定] タブに移動し、[システム設定] をクリックします。
2. 左の列から [プロビジョニング] 設定を開きます。
3. [モード] ドロップダウン リストからプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
  - ・[TMS] : Cisco TelePresence 管理システム (SX10 では利用できません)
  - ・[VCS] : Cisco Video Communication Server
  - ・[Callway] : WebEx Telepresence (SX10 では利用できません)
  - ・[CUCM] : Cisco Unified Communications Manager
  - ・[自動] : システムは VCS、TMS、CUCM の順にプロビジョニングを開始します。
  - ・[エッジ] : Cisco UCM via Expressway

[オフ] を選択した場合は、ビデオ システムのすべての設定を手動で行う必要があります。

### 必要なプロビジョニング パラメータを設定します。

どのパラメータを設定するかは、選択したインフラストラクチャによって決まります。

#### TMS

1. 必要な場合は、Cisco TMS でビデオ システムを認証します。その場合は、[ログイン名](#)と[パスワード](#)をそれぞれの入力フィールドに入力します。
2. [外部マネージャ] 見出しの下にある [アドレス] 入力フィールドに Cisco TMS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。\*
3. [リンク先] 入力フィールドに、プロビジョニング サービスのリンク先を入力します。

#### VCS

1. 必要な場合は、Cisco VCS でビデオ システムを認証します。その場合は、[ログイン名](#)と[パスワード](#)をそれぞれの入力フィールドに入力します。
  2. [外部マネージャ] 見出しの下にある [アドレス] 入力フィールドに Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
  3. Cisco VCS の SIP [ドメイン](#)を対応する入力フィールドに入力します。
- VCS プロビジョニングの詳細については、付録の『[Cisco VCS プロビジョニング](#)』を参照してください。

#### CUCM

[外部マネージャ] 見出しの下にある [アドレス] 入力フィールドに UCM プロビジョニング サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。\*

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

値の設定を変更する場合は、常に [保存] をクリックして変更を確定する必要があります。

作業概要に戻る

#### Cisco UCM via Expressway

Cisco UCM via Expressway サービスをお申し込みいただくと、ユーザ名、パスワード、およびドメイン名をお送りします。

1. [ログイン名] 入力フィールドに、ユーザ名を入力します。
2. [パスワード] 入力フィールドにパスワードを入力します。
3. [外部マネージャ] 見出しの下にある [ドメイン] 入力フィールドにドメイン名を入力します。

場合によっては、Expressway アドレスを手動で入力する必要があります。注文時に取得したアドレスを [外部マネージャ] 見出しの下にある [アドレス] 入力フィールドに入力します。

#### WebEx Telepresence (旧称 Callway)

Cisco WebEx Telepresence サービスをお申し込みいただくと、[ビデオ番号](#)と[アクティベーション コード](#)をお送りします。

ビデオ番号とアクティベーション コードがない場合は、社内の WebEx Telepresence 管理者にお問い合わせください。

1. [ログイン名] 入力フィールドに、ビデオ番号を入力します。
2. [パスワード] 入力フィールドに、アクティベーション コードを入力します。

\* DHCP サーバを設定して、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます (TMS : オプション 242、UCM : オプション 150)。ここで入力設定を実行すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

## IP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムは IP バージョン 4 (IPv4)、IP バージョン 6 (IPv6)、デュアルをサポートします。デフォルト設定はデュアルです。3 つの設定のすべてで、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。デュアルに設定すると、ネットワーク インターフェイスが両方の IP バージョンで動作し、IPv4 と IPv6 アドレスを同時に使用できます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

デュアル モードの使用中に手動で IP の設定を選択する場合は、IPv4 と IPv6 の両方を設定する必要があります。この手順の手順 2 から開始してください。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合は、これらの IP 設定がプロビジョニング システムによって上書きされる可能性があります。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[ システム情報 ] ページにそのアドレスが表示されます。[ 設定 ] タブに移動して、[ システムのステータス ] と [ ネットワーク ] を選択します。

**注：**Web インターフェイスを使用して IP アドレスを手動で変更することは推奨しません。

**値の設定を変更する場合は、**  
常に [ 保存 ] をクリックして変更を確定する必要があります。

作業概要に戻る

### IPv4 の設定または設定変更

[ 設定 ] タブに移動し、[ システム設定 ] を選択します。

#### 1. IP バージョンの選択

左のサイドバーで [ ネットワーク ] 設定をクリックします。[ IP スタック ] ドロップダウン リストから [IPv4] を選択します。

#### 2. IP 取得方法を手動で設定する場合

[IPv4] セクションで、**アドレス**、**ゲートウェイ**、**サブネット マスク**を対応する入力フィールドに入力します。

[DNS] セクションにスクロール アップし、[サーバ1アドレス] 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

#### 3. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv4] セクションにスクロール ダウンし、IP アドレスを自動取得する場合は [ 取得方法 ] ドロップダウン リストから [DHCP] を選択します。手動で取得する場合は [ 静的 ] を選択します。

### IPv6 の設定または設定変更

[ 設定 ] タブに移動し、[ システム設定 ] を選択します。

#### 1. IP バージョンの選択

左のサイドバーで [ ネットワーク ] 設定をクリックします。[ IP スタック ] ドロップダウン リストから [IPv6] を選択します。

#### 2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv6] セクションにスクロール ダウンし、ネットワーク要件に応じて [ 取得方法 ] ドロップダウン リストから [DHCPv6]、[ 自動設定 ] または [ 静的 ] を選択します。\*

#### 3. [IP 取得方法] が [ 静的 ] の場合 : IP アドレスの設定

[アドレス] 入力フィールドに IP サーバ アドレスを入力します。オプション:[ ゲートウェイ ] 入力フィールドにゲートウェイ アドレスを入力します。

#### 4. [IP 取得方法] が [ 静的 ] または [ 自動設定 ] の場合 : DHCP オプション

ネットワーク要件に応じて、[DHCP オプション] ドロップダウン リストから [ オン ] または [ オフ ] を選択します。\*\*

#### 5. [DHCP オプション] が [ オフ ] の場合 : DNS と NTP の設定

[DNS] セクションにスクロール アップし、[サーバ1アドレス] 入力フィールドに DNS サーバ アドレスを入力します。

左のサイドバーから [ ネットワークサービス ] 設定を開き、[NTP] セクションにスクロール ダウンします。[ アドレス ] 入力フィールドに NTP サーバ アドレスを入力します。[ モード ] を [ 自動 ] に設定します。

\* [IP 取得方法] :

[DHCPv6]:すべての IPv6 アドレス(DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなどのオプションを含む) を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。

[自動設定] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション(NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど) は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。\*\*

[ 静的 ] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。オプション(NTP サーバや DNS サーバのアドレスなど) は、[DHCP オプション] 設定に応じて設定するか、割り当てる必要があります。\*\*

\*\* [DHCP オプション] :

[ オン ] : IP パラメータ (DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなど) を DHCPv6 サーバから自動的に取得します。

[ オフ ] : IP パラメータ (DNS サーバ アドレスや NTP サーバ アドレスなど) を手動で設定する必要があります。

## H.323 と SIP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンライン接続して発着信するには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

**注：**ネットワーク設定に関する情報については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco TMS (Cisco Telepresence Management Suite) 経由で管理するネットワークについては、Cisco TMS 管理者がオンラインで支援します。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

システムの診断結果に、H.323 または SIP の登録に問題がないかどうかが示されます。

**注：**H.323 は、SX10 では利用できません。

### H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [ 設定 ] タブに移動して [ システム設定 ] を選択します。
2. 左のサイドバーから [H.323] 設定を開きます。
3. [ プロファイル 1 ] 見出しと [H.323 エイリアス] サブ見出しの下にある [E164] 入力フィールドと [ID] 入力フィールドに、E164 番号と ID 番号を入力します。
4. [ ゲートキーパー ] サブ見出しに移動します。  
H.323 ゲートキーパー アドレスをシステムで自動取得する場合は、[ 検出 ] ドロップダウン リストから [ 自動 ] を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、[ 手動 ] を選択します。  
[ 手動 ] に設定した場合は、ゲートキーパー アドレスを対応する入力フィールドに入力します。
5. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、[ 認証 ] サブ見出しに移動し、[ モード ] ドロップダウン リストから [ オン ] を選択します。次に、ログイン名とパスワードを対応する入力フィールドに入力します。  
認証が必要ない場合は、[ モード ] ドロップダウン リストから [ オフ ] を選択します。
6. [ ホーム ] タブをクリックして [ システム情報 ] を表示し、[H.323] 設定を確認します。  
正常にゲートキーパーに登録されると、[H.323] セクションの [ ステータス ] に [ 登録済み ] と表示されます。
7. 他の [H.323] 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを確認してください。

値の設定を変更する場合は、常に [ 保存 ] をクリックして変更を確定する必要があります。

作業概要に戻る

### SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [ 設定 ] タブに移動して [ システム設定 ] を選択します。
  2. 左のサイドバーから [SIP] ページを開きます。
  3. [ プロファイル 1 ] 見出しの下の [URI] 入力フィールドに SIP URI を入力し、必要に応じて [ 表示名 ] 入力フィールドに表示名を入力します。  
[ デフォルトのトランスポート ] ドロップダウン リストから希望するトランスポート プロトコルを選択します。[ 自動 ] を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
  4. [ タイプ ] ドロップダウン リストからプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは [ 標準 ] です。
  5. [ プロキシ 1 ] サブ見出しに移動します。  
SIP プロキシ アドレスをシステムで自動取得する場合は、[ 検出 ] ドロップダウン リストから [ 自動 ] を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、[ 手動 ] を選択します。  
[ 手動 ] を選択した場合は、プロキシ アドレスを対応する入力フィールドに入力します。
  6. SIP プロキシに認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証させる必要があります。[ 認証 1 ] サブ見出しに移動し、ログイン名とパスワードを対応する入力フィールドに入力します。
  7. [ ホーム ] タブをクリックして [ システム情報 ] を表示し、[SIP] 設定を確認します。  
正常に SIP サーバに登録されると、[SIP] セクションの [ ステータス ] に [ 登録済み ] と表示されます。
- 他の [SIP] 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを確認してください。

## 日時と場所の設定

(プロジェクティング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムを設定する際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。ゲートキーパーや他のネットワーク要素に送信されたメッセージのタイム スタンプ メッセージに特にこの情報が使用されます。

タッチ コントローラを使用してシステムを操作する場合は、時刻がタッチ コントローラの右上隅に表示されます。リモート コントロールを使用してシステムを操作する場合は、時刻と日付がメイン画面の右上隅に表示されます。

1. [ 設定 ] タブに移動して [ システム設定 ] を選択します。  
左の列から [ 時刻 ] 設定を開きます。
2. [ 日付表記形式 ] ドロップダウン リストから、希望の日付表記形式を選択します。
3. [ 時刻表記形式 ] ドロップダウン リストから、希望の時刻表記形式を選択します。
4. [ オルソンゾーン ] ドロップダウン リストから、タイム ゾーンを選択します。
5. 左の列から [ ネットワークサービス ] 設定を開きます。

値の設定を変更する場合は、  
常に [ 保存 ] をクリックして変更を確定する必要があります。

作業概要に戻る

\* [NTP モード] :

[自動] : 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスはネットワークから自動的に取得されます (DHCP)。

[手動] : 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバ アドレスを手動で入力する必要があります。

[オフ] : 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

## システム / コーデック パスワードの設定

システムの Web インターフェイスやコマンドライン インターフェイスにサイインするには、ユーザ名とパスワードが必要です。タッチ コントローラで [ 管理者設定 ] にアクセスするには、システム パスワードも必要です。

ビデオ会議システムのデフォルトのユーザ アカウントは、ユーザ名が **admin** で、パスワードは設定されていません。このユーザにはシステムへのフル アクセス権があります。

ビデオ システムの画面に表示される警告は、管理者パスワードが設定されていないことを示します。警告が表示されないようにするには、管理者パスワードを設定する必要があります。

**注：**システム設定へのアクセスを制限するために、**admin** ユーザのパスワードを設定することを強く推奨します。

パスワードの控えを安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、最寄りのシスコ代理店までお問い合わせください。

1. 右上隅のユーザ名をクリックし、[ パスワードの変更 ] を選択します。
2. 対応する入力フィールドに現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再入力します。  
パスワードの形式は、0 ~ 64 文字からなる文字列です。  
パスワードが未設定の場合、現在のパスワードは空白になっています。
3. [ パスワードの変更 ] をクリックします。

## メニュー パスワードの設定

初期設定ではメニュー パスワードが設定されていないため、画面メニューの [ 管理者 ] メニューへのアクセスが制限されています。メニュー パスワードの設定後にリモート コントロールを使用する場合は、メニューにアクセスしてビデオ システムを設定する必要があります。

タッチ コントローラを使用して [ 管理者設定 ] メニュー パスワードを設定することはできません。

**注：**管理者設定はビデオ会議システムの動作に影響を及ぼすため、[ 管理者設定 ] メニューを保護するパスワードを定義することを強く推奨します。

1. [ 設定 ] タブに移動して [ システム設定 ] を選択します。
2. 右上隅の [ 管理者設定メニュー パスワードの設定 ] テキストをクリックします。
3. [ パスワード ] フィールドにメニュー パスワードを入力します。
4. [ 保存 ] をクリックして変更を確定します。
5. 右上隅のリンク テキストが [ 管理者設定メニュー パスワードの変更 ] になります。

作業概要に戻る

## SX10 のセットアップ アシスタント

システムを初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

最初のセットアップでは、ソフトウェアをアップグレードするように要求されます。ソフトウェア アップグレード メッセージが表示されるのを待機してアップグレードしてから、セットアップ アシスタントに進むことを推奨します。

- ・セットアップ中にアップグレードすると、設定への変更が維持されません。
- ・ソフトウェア アップグレードを今すぐしない選択をすると、6 時間後に再度プロンプトが表示されます。

システムが自動的にプロビジョニングされている場合は、IP およびプロビジョニング設定が自動的に設定されています。自動設定を維持するには、セットアップ アシスタントのこれらの段階を省略してください。

### セットアップ アシスタントの起動

ホーム画面の左上隅に移動し、リモート コントロールで [OK] を押します。

[ 設定 ] に移動して、[OK] を押します。[ セットアップアシスタント ] に移動して、[OK] を押します。画面の指示に従います。

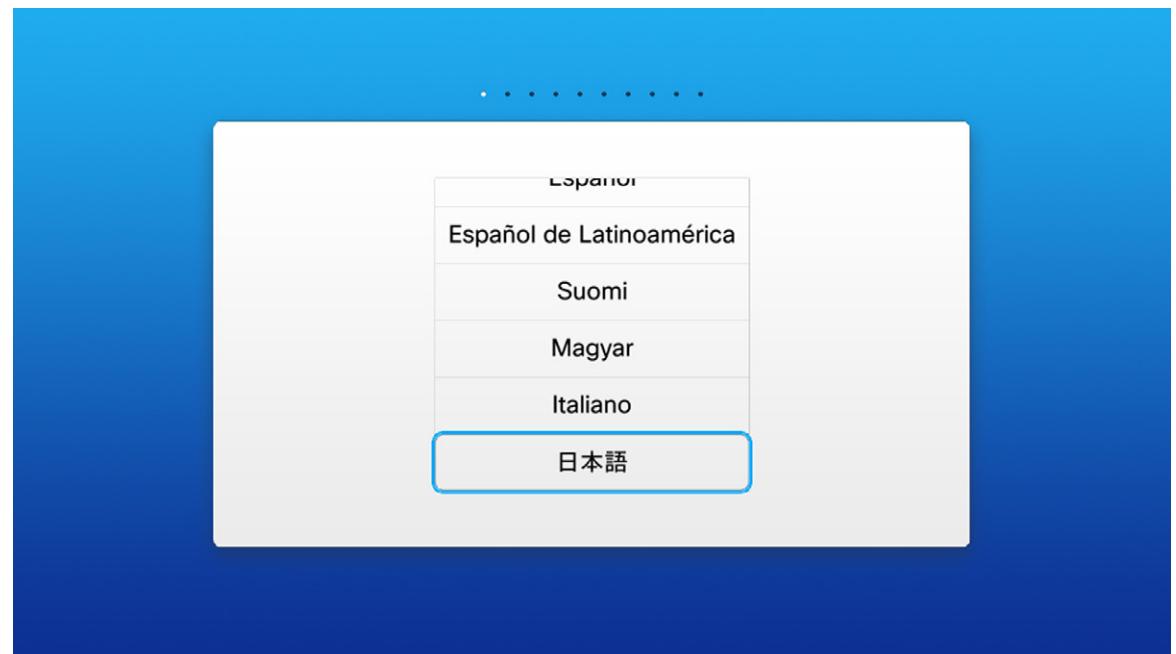
システム画面にメニューが表示されない場合：

- ・モニタが接続されてスイッチがオンになっているか確認します。
- ・モニタで正しい入力データが選択されていることを確認します。
- ・リモート コントロールに電池が挿入されているか確認します。
- ・システムのスイッチがオンになっているか確認します。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

まだ画面にメニューが表示されない場合は、モニタ ケーブルがビデオ出力コネクタに接続されていることを確認します。ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。

[作業概要に戻る](#)



画面の表示

## IP の設定項目

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てるごと、すべて手動で設定することもできます。システムが自動的にプロビジョニングされる場合は、これらの IP 設定がプロビジョニング システムによって上書きされる可能性があります。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IPv4 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[ 設定 ] の下に表示されます。確認するには、左上隅のユーザ名に移動し、[ 設定 ] を選択します。

IPv4 設定を変更するには、左上隅のユーザ名に移動して、[ 設定 ] を選択します。[ セットアップアシスタント ] を選択して、IPv4 セクションに進みます。

IP 設定をデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 または IPv6 のいずれかに変更する場合は、Web インターフェイスでその変更を実行できます。

**注：**SX10 を初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

### 1. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

IP アドレスを自動で取得する場合は [IP 取得方法] セクションで [DHCP] を選択し、手動で IP アドレスを設定する場合は [ 静的 ] を選択します。



### 2. [IP 取得方法] が [ 静的 ] の場合 : IP アドレスの設定

[IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ アドレス] を入力します。入力フィールドを選択すると、ソフト キーボードが表示されます。✓ を選択して変更を確定します。



### 3. [ 適用 ] を選択して、変更を保存します。



作業概要に戻る

## プロビジョニングの設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

システムが自動的にプロビジョニングされている場合は、IP およびプロビジョニング設定が自動的に設定されています。自動設定を維持するには、セットアップ アシスタントのこれらの段階を省略してください。

### セットアップ アシスタントの起動

左上隅のユーザ名に移動して [ 設定 ] を選択します。[ セットアップアシスタント ] を選択します。[ 次へ ] を選択して、[ プロビジョニング ] に移動します。

**注：**SX10 を初めて起動するときには、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

### プロビジョニング インフラストラクチャの選択

サポートされている次のいずれかのプロビジョニング システムを選択します。

- [CUCM] (Cisco Unified Communications Manager)
- [Expressway 経由の CUCM]
- [VCS] (Video Communication Server)



\* DHCP サーバをセットアップして、ホスト サーバのアドレスを自動的に割り当てる事ができます (DHCP オプション 150)。ここで入力設定を実行すると、DHCP から提供された設定が上書きされます。

作業概要に戻る

#### [CUCM]

必要な情報を取得するには、UCM 管理者にお問い合わせください。

[ ホストサーバアドレス ] フィールドに IP アドレスまたは DNS 名を入力し、 を選択して、変更内容を確定します\*。[ 適用 ] を選択して、保存します。

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。



#### [Expressway 経由の CUCM]

必要な情報を取得するには、UCM 管理者にお問い合わせください。

ユーザ名、パスワード、および ドメインを対応する入力フィールドに入力してください。変更を確定するときは必ず  を選択します。[ 適用 ] を選択して、保存します。

場合によっては、Expressway アドレスを手動で入力する必要があります。[Expressway アドレスを手動で上書き] を選択し、注文時に取得したアドレスを [ ホストサーバアドレス ] フィールドに入力します。



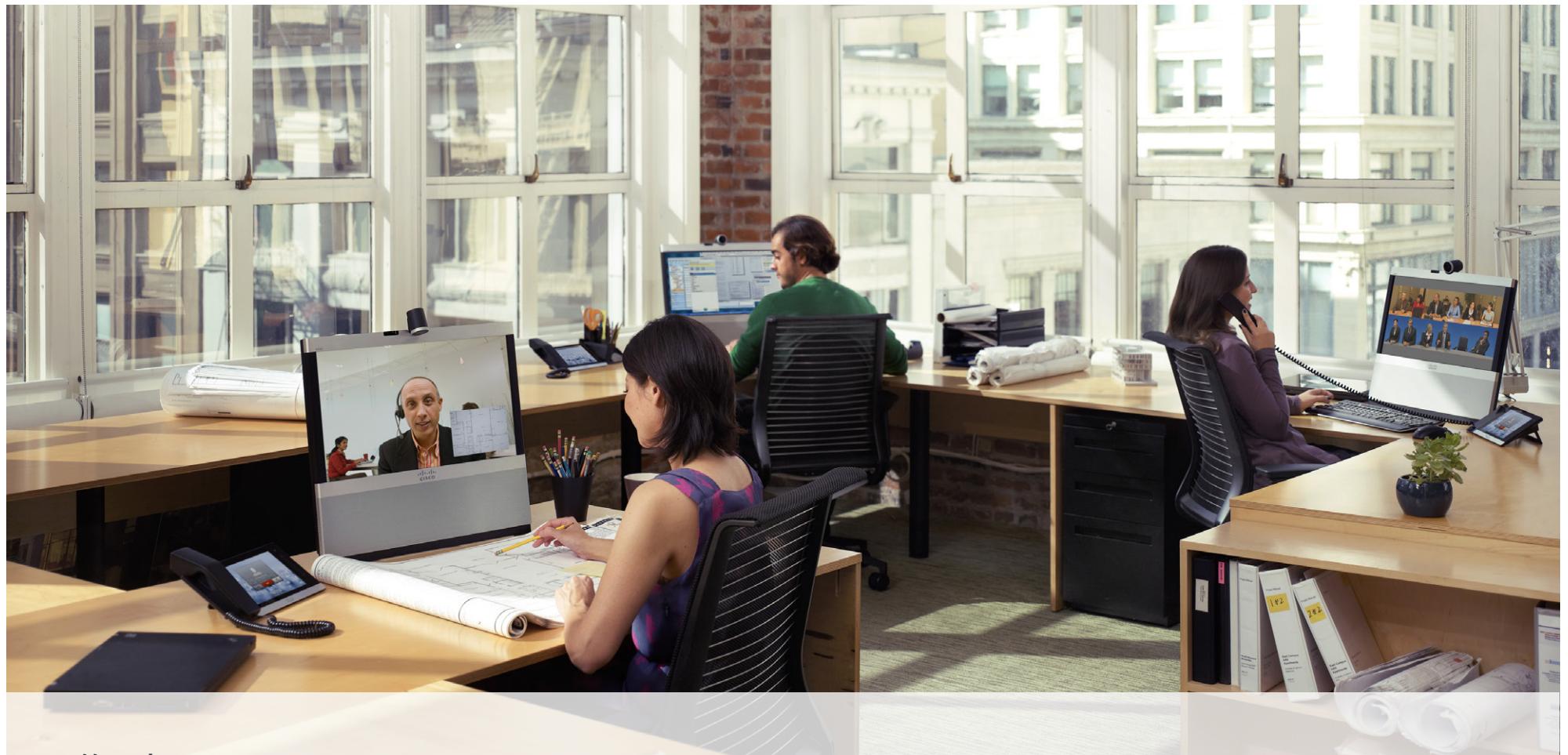
#### [VCS]

必要な情報を取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。

1. Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力し、 を選択して、変更を確定します。
2. 必要に応じて、プロビジョニング サーバでビデオ システムを認証するためにユーザ名およびパスワードを入力します。 を選択して変更を確定します。
3. SIP の [ ドメイン ] を入力し、 を選択して変更を確定します。
4. [ 適用 ] を選択して、変更を保存します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の『[Cisco VCS プロビジョニング](#)』を参照してください。





## 第4章 付録

## タッチ コントローラの使用方法

下の図は、タッチ コントローラの基本機能を示しています。

タッチ コントローラとその使用方法の詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。

すべての設定を全製品で利用できるとは限りません。そのため、以下に示されているタッチ ボタンがお使いのシステムに表示されない場合があります。

### 基本操作原理

必要に応じて、タッチ スクリーンをタップしてシステムを起動します。



ボタンをタップして機能をアクティブにします。



図のようにリストをスクロールします。



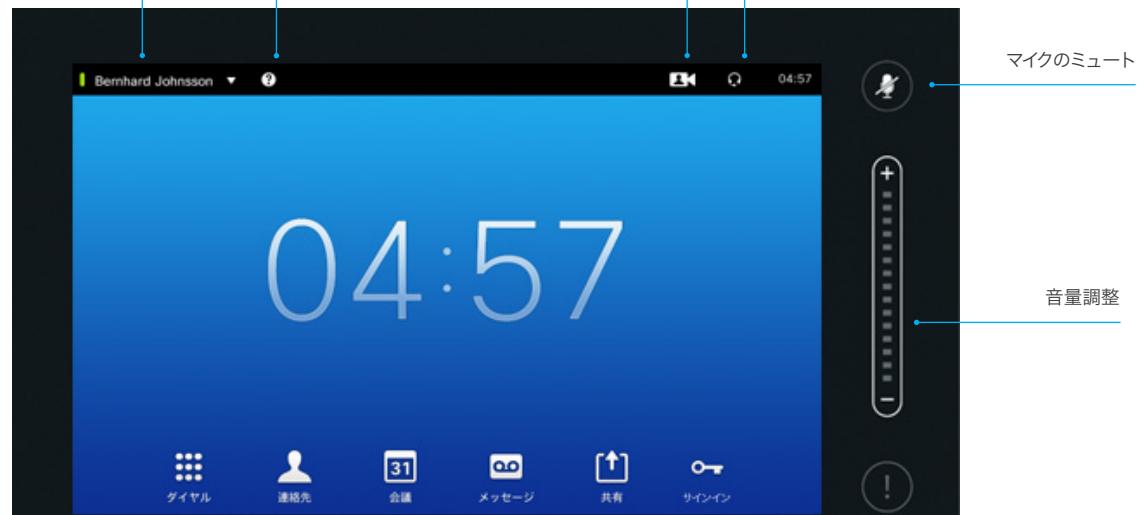
ここでは、以下を確認できます。

- 着信拒否
- スタンバイ モード
- [ 設定 ] メニュー

ヘルプデスクの呼び出し

カメラ操作とセルフ ビューの調整

ヘッドセット、ハンドセット、またはスピーカーの選択



## タッチ コントローラの [ 設定 ] メニュー

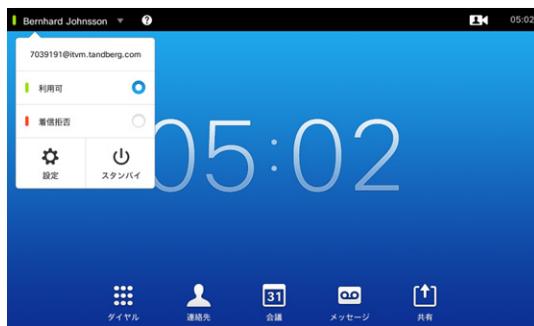
すべての設定を全製品で利用できるとは限りません。そのため、右側に示されているメニュー項目がお使いのシステムに表示されない場合があります。

タッチ コントローラのメニューの詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。

[ 管理者設定 ] メニューはシステム パスワードで保護されています。

必要に応じて、ユーザのアクセス制限を追加するように設定できます。この設定は Web インターフェイスで実行できます。[ 設定 ] > [ システム設定 ] > [ ユーザインターフェイス ] の順に移動し、[ ユーザ設定 ] を [ オフ ] に設定します。この制限を適用すると、ユーザは [ システム情報 ] 、[ 通信状態 ] 、[ 診断 ] および [ 再起動 ] のみを利用できます。

[ 設定 ] メニューを開くには、左上隅のシステム名またはユーザ名をタップして、[ 設定 ] をタップします。



### [ 設定 ] メニュー

- ・ [ バックグラウンド ] : タッチ コントローラとメイン ビデオ画面のバックグラウンド画像を選択します。
- ・ [ 着信音とサウンド ] : 着信音、着信音量、キー トーンを選択します。
- ・ [ Bluetooth ヘッドセット ] : Bluetooth ヘッドセットを選択します。
- ・ [ カメラ操作 ] : カメラのパラメータを設定します。
- ・ [ メインソースの選択 ] : カメラ操作などのメイン入力ソースを選択します。
- ・ [ 画面 ] : メイン ビデオ画面の明るさ、色温度、DVI モードを選択します。
- ・ [ 言語 ] : ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- ・ [ システム情報 ] : システム設定の概要を表示します。
- ・ [ 通信状態 ] : 通信中の通信パラメータ (プロトコル、送受信速度、パケット ロスなど) の概要を表示します。
- ・ [ 診断 ] : 追加のシステム ログオン情報を設定します。
- ・ [ 再起動 ] : システムを再起動するには、このオプションを選択します。
- ・ [ 管理者 ] : 以下を参照してください。



### [ 管理者設定 ] メニュー

- ・ [ 日時と場所 ] : 日時と場所を設定します。
- ・ [ 通話の詳細 ] : デフォルトのビット レートや自動応答を設定します。
- ・ [ プロビジョニング ] : プロビジョニング ウィザードを開始します。
- ・ [ マルチポイントモード ] : Multiway サーバのアドレスを挿入します。
- ・ [ IP と VLAN ] : IP と VLAN を設定します。タッチ コントローラが LAN に接続されている場合は、CODEC と TOUCH が個別に表示されます。
- ・ [ ネットワークのステータス - コーデック ] : コーデックの現在のネットワーク ステータス。
- ・ [ ネットワークのステータス - タッチ ] : タッチ コントローラの現在のネットワーク ステータス。
- ・ [ SIP ] : SIP の設定を行います。
- ・ [ H323 ] : H.323 の設定を行います。
- ・ [ EMC レジリエンス ] : 電磁雑音に対するタッチ コントローラの耐性を変更するには、このオプションを選択します。
- ・ [ リセット ] : 初期設定にリセットするには、このオプションを選択します。すべての設定がリセットされます。

## TRC5 リモート コントロールと - 画面メニューの使用方法

リモート コントロールを手に取り、その側面のゴム製のライン センサーに触ると、システムが起動します。

システムまたはカメラの方向にリモート コントロールを向け、**ホーム** キー (□) を押して最上位メニューを開きます。

### メニューの移動

リモート コントロールを使用してメニューを移動する方法：

- 上下矢印を使用してメニュー項目を選択します。
- 右矢印を使用して、選択したメニュー項目を展開します。
- 左矢印を使用して 1 つ前の手順に戻ります。

### 設定の変更

リモート コントロールを使用して値を変更する方法：

- ドロップダウン リストから値を選択し、保存する場合は **OK** キー (✓) を押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 値またはテキストを各入力フィールドに入力します。変更を保存する場合は [ 保存 ] に移動して **OK** (✓) を押し、保存しない場合は [ キャンセル ] に移動して **OK** (✓) を押します。

画面メニューの詳細については、付録の「▶ 画面メニュー システム」を参照してください。



### 上下矢印

上 ▲ および下 ▼ 矢印キーを押して、メニュー内を移動します。

### 左矢印

左 ◀ 矢印キーを押して、メニューの 1 つ前のステップに戻ったり、テキストフィールド内を左方向に移動したりします。

### 右矢印

右 ▶ 矢印キーを押して、選択したメニュー項目を展開したり、テキストフィールド内を右方向に移動したりします。

### OK/選択

**OK/選択** キー (✓) を押して、選択を確定します。

## 検索機能

[ 詳細設定 ] メニュー内のシステム設定を検索することができます。アドレス帳と発着信履歴のリストで名前を検索することも可能です。

- リモート コントロールで # キーを押すと、文字と数字 (abc/123) が切り替わります。
- 必要な文字を入力して、検索対象の名前や設定をリストに表示させます。目的の結果が得られるまで、文字を追加したり、削除したりします。
- すべての文字を削除すると、メイン ビューに戻ります。

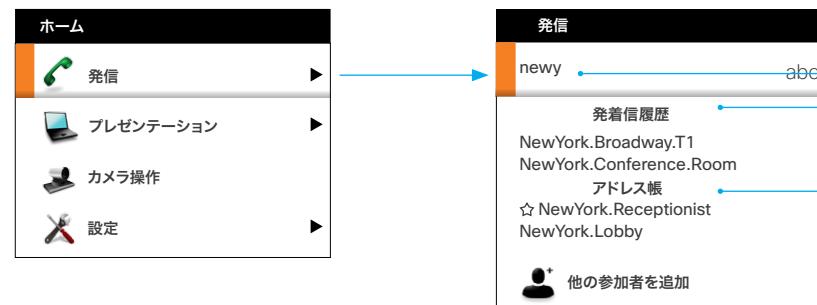
### システム設定の検索



[ 詳細設定 ] メニューに移動します。

必要な文字を入力して、検索対象の設定をリストに表示させます。

### [ 発信 ] メニューからの連絡先の検索



必要な文字を入力して、検索対象の名前をリストに表示させます。

最初に、発着信履歴のリストの連絡先が表示されます。

次に、アドレス帳の連絡先が表示されます。☆（星）マークが付いた連絡先は個人アドレス帳に登録されているもので、他の連絡先は会社のアドレス帳に登録されているものです。

## リモート コントロールの詳細



リモート コントロールの上部にある機能キーは、画面のソフトキーに対応しています。

リモート コントロールの中央部は、ビデオ、サウンド、アドレス帳、メニューの操作やナビゲーションに使用されます。

リモート コントロールの下部は、携帯電話のキーパッドに類似しています。

リモート コントロールに使用可能な電池（単 4 電池 X 4 個）がセットされていることを確認します。



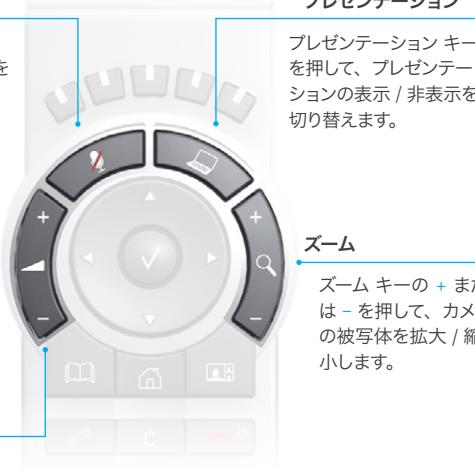
### 機能キー

各機能キーは画面のソフトキーに対応して、ショートカットと詳細機能を表します。



### マイク

マイクキーを押して、マイク設定のオン / オフを切り替えます。



### 音量

音量キーの + または - を押して、コーデックの音量を調整します。

### ミュート

- ボタンを長押しして、着信音をミュートします。

### プレゼンテーション

プレゼンテーションキーを押して、プレゼンテーションの表示 / 非表示を切り替えます。

### ズーム

ズームキーの + または - を押して、カメラの被写体を拡大 / 縮小します。

### 上下矢印

上 ▲ および下 ▼ 矢印キーを押してメニュー内を移動します。画面にメニューが表示されていない場合は、カメラの方向を移動します（パン、チルト）。

### 左矢印

左 ◀ 矢印キーを押して、メニューの 1 つ前のステップに戻ったり、テキスト フィールド内を左方向に移動したりします。

### 右矢印

右 ▶ 矢印キーを押して、選択したメニュー項目を展開したり、テキスト フィールド内を右方向に移動したりします。

### OK / 選択

OK / 選択キーを押して、選択を確定します。

### アドレス帳

アドレス帳キーを押すと、アドレス帳が表示されます。

### レイアウト

レイアウトキーを押して [レイアウト] メニューを表示し、メニューのビューを選択します。

### ホーム

ホームキーを押して、[ホーム] メニューに戻ります。

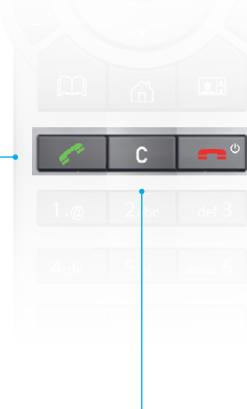
**通話キー**

通話キーを押して、発信したり、着信に応答したりします。

[発信] メニューが表示されていない場合、通話ボタンは発着信履歴へのショートカットとして機能します。

**クリア**

クリアキーを押して、テキスト フィールド内の文字を削除します。

**通話終了 / スタンバイ**

通話終了キーを押して、着信を拒否したり、通話中またはアイドルの状態を終了してスタンバイ モードに移行したりします。メニュー内を移動中にこのキーを押すと、メニュー システムが終了します。

このキーを長押しすると、システムがスタンバイ モードになります。

**システムの起動**

システムを起動するには、リモート コントロールを手に取るか、任意のキーを押します。安定した操作を行うために、リモート コントロールをシステム / カメラに向ける必要がある場合があります。

**ホーム キー**

ホーム (家) キーを押して、画面に [ ホーム ] メニューを表示します。

**ゴム製のライン センサー**

リモート コントロールを手に取り、側面のゴム製のライン センサーに触ると、システムが起動します。

**英数字キーパッド**

このキーパッドは携帯電話のキーパッドと同様に動作します。

0 ~ 9、a ~ z、ピリオド (.)、  
@、スペース、\*

キーを繰り返し押して、キーに表示されるオプションを切り替えます。



abc/123 #

# キーを押して、小文字、大文字、数字 (abc/ABC/123) を切り替えます (コンテキストに依存)。

**IR センサーの範囲 (DIP スイッチの設定)**

IR センサーの範囲には短距離と長距離があります。ビデオ会議システムを互いに近づけて配置する場合は、他のシステムとの干渉を避けるために、短距離に設定する方が適しています。

電池カバーを開いて電池を取り外し、DIP スイッチを設定します。

- 短距離 (1 m/3 フィート) : DIP スイッチを下に移動させます。
- 長距離 : DIP スイッチを上に移動させます。

**DIP スイッチ**

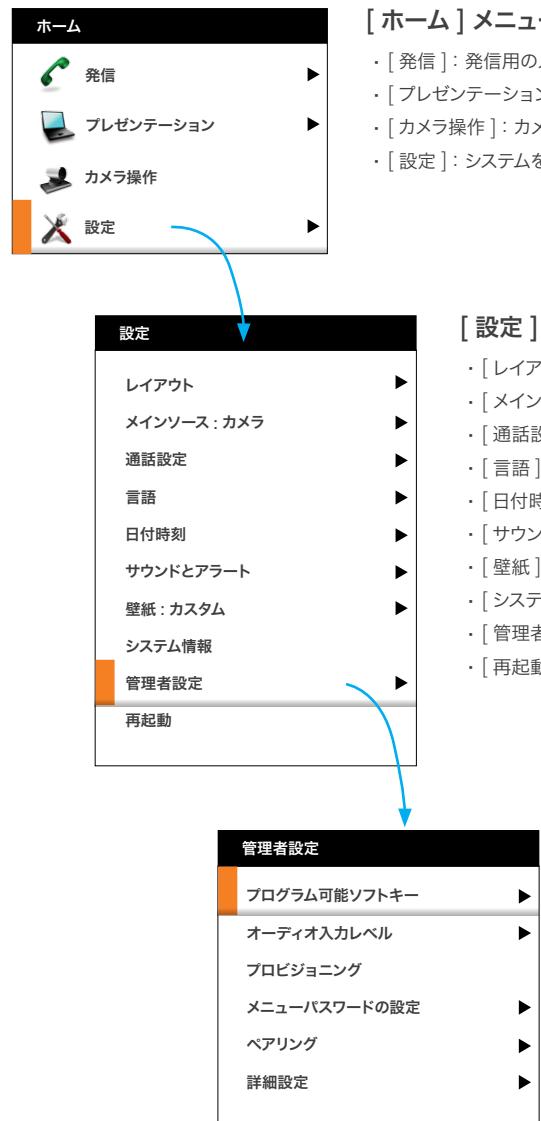
## 画面メニュー システム

メニューの詳細については、ユーザ ガイドと管理者ガイドを参照してください。

[ ホーム ]、[ 設定 ] および [ 管理者設定 ] メニューの詳細については、製品のユーザ ガイドを参照してください。

[ 詳細設定 ] メニューの詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

パスワードを設定して [ 管理者設定 ] メニューへのアクセスを制限することを強く推奨します。



### [ ホーム ] メニュー

- [ 発信 ]：発信用のメニューです。
- [ プrezentation ]：プレゼンテーション ソースを選択します。
- [ カメラ操作 ]：カメラの設定を制御します。
- [ 設定 ]：システムを設定します。

### [ 設定 ] メニュー

- [ レイアウト ]：セルフ ビューなどの画面レイアウトを選択します。
- [ メインソース ]：メイン ビデオ ソースを選択します。
- [ 通話設定 ]：デフォルトのビット レートや自動応答を設定します。
- [ 言語 ]：希望するメニュー言語を選択します。
- [ 日付時刻 ]：日時を設定します。
- [ サウンドとアラート ]：着信音、着信音量、キー トーンを選択します。
- [ 壁紙 ]：画面のバックグラウンド画像を選択します。
- [ システム情報 ]：システム設定の概要を表示します。
- [ 管理者設定 ]：管理設定を行います。
- [ 再起動 ]：システムを再起動するには、このオプションを選択します。

### [ 管理者設定 ] メニュー

- [ プログラム可能ソフトキー ]：ユーザ定義のソフトキーを使用して、メイン ビデオ ソース、カメラ プリセットや短縮ダイヤルを選択できます。
- [ オーディオ入力レベル ]：システムに接続したマイクのオーディオ入力レベルを設定します。
- [ プロビジョニング ]：ビデオ通話用の WebEx 登録ベース サービスにシステムを接続します。
- [ メニューパスワードの設定 ]：メニュー パスワードを設定または変更します。
- [ ペアリング ]：ペアリング設定を変更します。
- [ 詳細設定 ]：システムの設定を行います。

## Web インターフェイスの使用方法

次に、ビデオ会議システムの Web インターフェイスの移動とパラメータの設定に関する基本原理を示します。

Web ブラウザのアドレスバーにシステムの IP アドレスを入力して Web インターフェイスを開き、サインインします。

推奨ブラウザは、Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Chrome または Safari の最新リリースです。

Web インターフェイスの編成方法やアクセス可能な設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

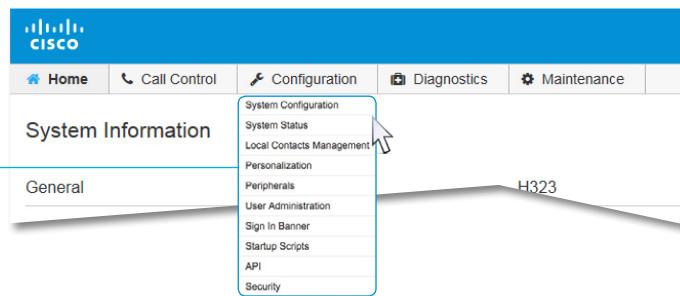
### メイン メニュー

正常にシステムにサインインすると、メイン メニューが開きます。



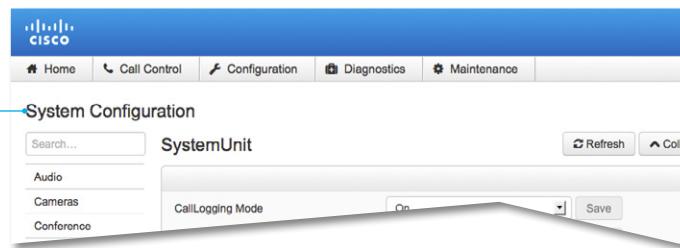
### [ 設定 ] サブメニュー

メイン メニュー項目の上にマウスを移動すると、サブメニューが開きます。



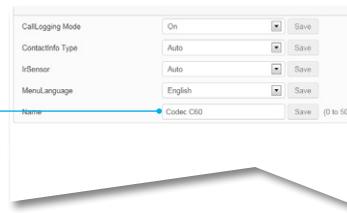
### [ システム設定 ] ページ

サブメニュー項目をクリックすると、該当ページが開きます。そのページからさまざまな作業を実行できます。



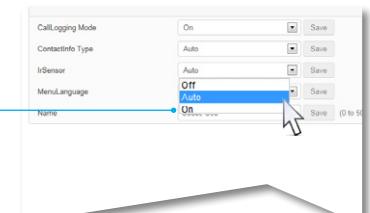
### テキストの入力

入力フィールドにテキストを入力して [ 保存 ] をクリックすると、変更が確定します。



### 値の選択

矢印をクリックすると、ドロップダウンリストが開きます。値を選択します。



## Web インターフェイスの [ システム設定 ] ページ

Web ブラウザのアドレス バーにビデオ会議システムの IP アドレスを入力して Web インターフェイスを開き、サインインします。

サインインすると、[ 設定 ] メニューから [ システム設定 ] ページを開くことができます。

このページからすべての設定にアクセスできます。

すべての設定を全製品で利用できるとは限りません。そのため、右側に示されているフォルダがお使いのシステムに表示されない場合があります。

Web インターフェイスと設定の詳細については、お使いのシステムの管理者ガイドを参照してください。

### System Configuration

Search...

Audio

Cameras

Conference

FacilityService

GPIO

H323

Logging

Network

NetworkPort

NetworkServices

Phonebook Server

Provisioning

RTP Ports Range

Security

SerialPort

SIP

Standby

SystemUnit

Time

UserInterface

Video

### [ システム設定 ] メニュー

この設定には、次の最上位カテゴリが並んでいます。

- ・ [Audio] : マイク、音声出力、エコー制御、音量、サウンド、アラートなどの設定。
- ・ [Cameras] : フォーカス モード、明るさ、ホワイトバランス、逆光補正、フリップとミラーのようなオプションの設定など。
- ・ [Conference] : 送受信ビット レート、帯域割り当て、着信処理、暗号化、パケット ロス、レジリエンス、接続先操作などの会議設定。
- ・ [FacilityService] : ヘルプデスクなどの便利なサービスを呼び出す短縮ダイヤルの設定。
- ・ [GPIO] : GPIO ピンの定義。
- ・ [H323] : H.323 プロトコルの全設定。
- ・ [Logging] : ロギング モードの設定 (このソフトウェア バージョンでは適用不可)。
- ・ [Network] : IP、VLAN、QoS の設定。
- ・ [NetworkPort] : コーデックの 2 番目のイーサネット ポートの有効化 / 無効化。
- ・ [NetworkServices] : ネットワーク サービス (Multiway、Telnet、SSH、HTTP、HTTPS、SNMP、H323、SIP、NTP) の有効化 / 無効化。
- ・ [Phonebook Server] : 電話帳の種類と場所。
- ・ [Provisioning] : プロビジョニング モード、マネージャ アドレス、プロトコルと方法の設定。
- ・ [RTP Ports Range] : RTP ポート番号。
- ・ [Security] : 監査サーバやエラー ロギングの設定。
- ・ [SerialPort] : シリアル ポートの有効化 / 無効化、ポート レートの設定。
- ・ [SIP] : SIP プロトコルの全設定。
- ・ [Standby] : システムがスタンバイ モードに移行する時間と、スタンバイ モードへの移行 / 復帰時の動作方法の設定。
- ・ [SystemUnit] : システムの名前や種類などの設定、メニュー言語の選択。
- ・ [Time] : 日付と時刻の設定。
- ・ [UserInterface] : タッチ コントローラの設定。
- ・ [Video] : ビデオ ソースとモニタ、ビデオ表示とレイアウトの設定。

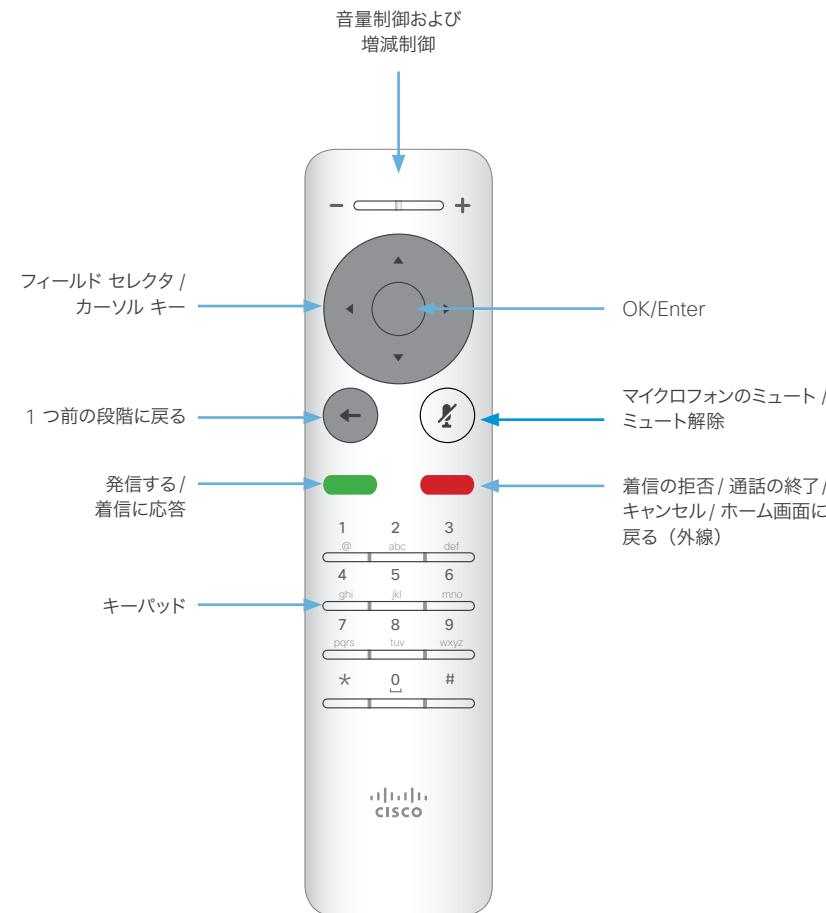
## TRC6 リモート コントロール

リモート コントロールを手に取ると、システムが起動します。

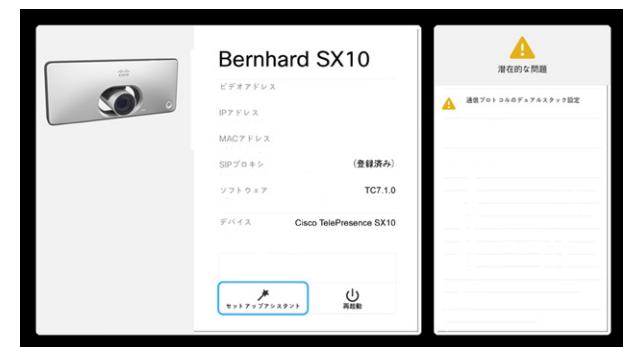
画面のあちこちに移動するには、**カーソル** コントロールを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、**OK/Enter** を押します。

メニューを終了するには、**キャンセル** キーを使用します（変更内容を実行せずにホーム画面に戻ります）。1 つ前の段階に戻る場合は、**戻る**キーを使用します。

リモート コントロールに使用可能な電池（単 4 電池 × 2 個）がセットされていることを確認します。



## SX10 の画面上のメニュー



[ 設定 ] は基本的なシステム情報を示します。[ 設定 ] はセットアップ アシスタントへのアクセスを提供するだけでなく、システムを再起動します。

セットアップ アシスタントでは、次の内容を設定できます。

- ・[ 言語 ] : ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- ・[IP 設定] : 自動プロビジョニングによって設定されていない場合は、IPv4 設定を変更します。
- ・[ プロビジョニング設定 ] : 自動プロビジョニングによって設定されていない場合は、プロビジョニング設定を変更します。
- ・[ マイクのテスト ] : 外付けマイクを使用している場合は、このテストを使用して位置を調整します。
- ・[スピーカーの音量] : 着信音および通話のスピーカーの音量を設定します。テスト サウンドが聞こえないような場合は、モニタの音量がオンになっていることと、ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ・[ 既定のカメラ位置 ] : 今後の通話に対して既定のカメラ位置を設定します。
- ・[ プレゼンテーションのテスト ] : コンピュータを SX10 に接続してから、アイコンが変わり、コンピュータ画面がミラーリングされるのを待機します。



## Cisco VCS プロビジョニング

Cisco VCS (Video Communication Server) プロビジョニングを使用する場合は、Cisco TMS (TelePresence 管理システム) に、プロビジョニング可能なすべての設定が含まれているテンプレートをアップロードする必要があります。これは、Cisco TMS プロビジョニング設定テンプレートと呼ばれています。

このテンプレートには、ビデオ システムの詳細設定がすべて含まれています。システム ユニット名と SIP プロファイル [1..] URI を除くすべての設定を、ビデオ システムに自動的にプロビジョニングすることができます。

詳細設定については、お使いのビデオ システムの管理者ガイドを参照してください。デフォルト値または例の値のいずれかを示す例が記載されています。

Cisco TMS へのファイルのアップロード方法や、プロビジョニングするパラメータの希望値の設定方法については、『Cisco TMS Provisioning Deployment Guide』を参照してください。Cisco TMS で設定しない場合は、デフォルト値が使用されます。

### プロビジョニング設定テンプレートのダウンロード

以下のテンプレートをダウンロードできます。

C シリーズ : [C シリーズのリリース ノート](#)

EX シリーズ : [EX シリーズのリリース ノート](#)

MX シリーズ : [MX シリーズのリリース ノート](#)

Profile シリーズ : [Profile シリーズのリリース ノート](#)

SX シリーズ : [SX シリーズのリリース ノート](#)

各ソフトウェア リリースでは、ビデオ システム モデルごとに 1 つのプロビジョニング設定テンプレートが用意されています。該当するファイルをご確認の上、ダウンロードしてください。



## シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション

Cisco TelePresence 製品のユーザ ドキュメンテーションは、次の URL から入手できます。▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

お使いの製品に応じて、次の製品体系に従い該当製品を選択します。

### Codec C シリーズ：

- TelePresence 統合ソリューション
  - > Cisco Telepresence インテグレータ C シリーズ
- URL : ▶ [www.cisco.com/go/cseries-docs](http://www.cisco.com/go/cseries-docs)

### EX シリーズ：

- スマート デスク エンドポイント
  - > Cisco TelePresence System EX シリーズ
- URL : ▶ [www.cisco.com/go/ex-docs](http://www.cisco.com/go/ex-docs)

### MX シリーズ：

- コラボレーション ルーム エンドポイント
  - > Cisco TelePresence MX シリーズ
- URL : ▶ [www.cisco.com/go/mx-docs](http://www.cisco.com/go/mx-docs)

### Profile シリーズ：

- コラボレーション ルーム エンドポイント
  - > Cisco TelePresence Profile シリーズ
- URL : ▶ [www.cisco.com/go/profile-docs](http://www.cisco.com/go/profile-docs)

### SX シリーズ：

- TelePresence 統合ソリューション
  - > Cisco TelePresence SX シリーズ
- URL : ▶ [www.cisco.com/go/sx-docs](http://www.cisco.com/go/sx-docs)

### ドキュメント カテゴリ

各製品のドキュメントは以下のカテゴリに分類されています。

#### ユーザ ガイド：

保守と運用 | エンドユーザ ガイド

#### クイック リファレンス ガイド：

保守と運用 | エンドユーザ ガイド

#### インストール ガイド：

インストールとアップグレード | インストールとアップグレード ガイド

#### スタートアップ ガイド：

インストールとアップグレード | インストールとアップグレード ガイド

#### 管理者ガイド：

保守と運用 | メンテナンスとオペレーション ガイド

#### API リファレンス ガイド：

リファレンス ガイド | コマンド リファレンス

#### 物理インターフェイス ガイド：

保守と運用 | エンドユーザ ガイド

#### 法規制の遵守と安全性に関する情報：

インストールとアップグレード | インストールとアップグレード ガイド

#### TC ソフトウェア リリース ノート：

リリースと一般情報 | リリース ノート

#### TC ソフトウェア ライセンス情報：

リリースと一般情報 | ライセンス情報

#### ビデオ会議室ガイドライン：

設計 | 設計ガイド

**注：**製品によって、提供されるユーザ ドキュメンテーションの種類が異なります。



## 知的財産権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポジクル、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一一致によるものです。

TANDBERG はシスコの一部です。TANDBERG® は Tandberg ASA に帰属する登録商標です。

## シスコへのお問い合わせ

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL : <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts>

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。  
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先:シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>